



国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所

2020年1月20日

国連世界観光機関 (UNWTO)
世界観光指標 (World Tourism Barometer)
2019年11月号について

本報道発表の原文（英語）は、下記リンクにてご覧いただけます。
世界観光指標原文（英語）は、下記リンクにて抄録（無償）
及び全文（有償）をご覧いただけます。 <https://www.e-unwto.org/>

**全地域における観光成長の伸びは「持続可能な開発アジェンダ」に貢献
する観光の可能性を強めた**

2019年12月12日
マドリッド

UNWTO 世界観光指標(World Tourism Barometer)の最新号によると、2019年1月～9月の国際観光客到着数は4%増となった。観光客の増加は世界の経済成長率を上回り、世界中に発展の機会を創出するという非常に大きな可能性を持つとともに、持続可能性に貢献する可能性を示している。

最新の同指標によると、2019年初来の9カ月間に世界のデスティネーションは11億人の国際観光客を受入れた（2018年の同期比4,300万人増）。これはUNWTOによる2019年の成長率予測3～4%の範囲内である。

世界経済の減速、貿易量の増加、地政学的な緊張、長引く英国のEU離脱の不確実性によって北半球の夏期ピークシーズン（7月～9月）における国際観光はより緩やかな成長基調を辿った。

World Tourism Organization (UNWTO) Regional Support Office for Asia and the Pacific
- A Specialized Agency of the United Nations

Silkia Nara 2F, Sanjo-honmachi, Nara, 630-8122, Japan Tel: +81(742)30-3880 Fax: +81(742)30-3883 Email: info@unwto-ap.org

UNWTO ズラブ・ポロリカシュビリ事務局長は「世界のリーダーは気候非常事態に対し具体的な解決策を見出すため、マドリードで開催中の『国連気候変動枠組条約第 25 回締約国会議(COP25)』に参加しています。最新の UNWTO 世界観光指標は、観光が経済的影響力を増すと共に、持続可能性に関わる諸課題を解決へと導く可能性があることを示します。観光客数が増加し続けることにより、観光は更に多くの機会を創出しますが、同様に、人々と地球に対する責任を強化していかなければなりません。」と述べた。

観光は現在、世界で 3 番目に大きな輸出区分に

観光は 2018 年に 1.7 兆米ドルの国際観光収入を生み、輸出区分において燃料(2.4 兆米ドル)と化学(2.2 兆米ドル)に次ぎ第 3 位にランクインした。先進国・地域において観光は何年もの持続的成長後の顕著な成果により自動車関連輸出を上回った。

国際観光は、世界のサービス輸出の 29%及び輸出全体の 7%を占める。一部の地域ではこれらの世界平均を上回り、特に中東及びアフリカ地域において観光はサービス輸出の 50%以上、輸出全体の約 9%を占める。

これは歳入を増加させ、貿易赤字を削減し、長期的に持続可能な発展を確保するために、観光を国の輸出政策の主流とすることが重要であることを表している。

2019 年 9 月までの国際観光収入ランキング上位 10 位においてオーストラリア(+9%)、日本(+8%)、イタリア(+7%)が高い成長を見せた。一方で中国、英国、米国は減少を示し、様々な結果となった。地中海のデスティネーションは、ヨーロッパと中東および北アフリカの地域で観光収入が最も力強い結果を示した。

地域実績

2019 年初来の 9 カ月間の到着数の成長は、中東 (+ 9%) が先導し、これにアジア・太平洋・アフリカ (共に+ 5%)、ヨーロッパ (+ 3%)、米州 (+ 2%) が続いた。

2019 年 1 月~9 月のヨーロッパの到着数における成長基調は、昨年同期比の 6%増から 3%増まで減速となった。これは世界で最も訪問者数の多い同地域における夏期ピーク時の需要の減速を反映している。南地中海ヨーロッパ (+ 5%) および中央・東ヨーロッパ (+ 4%) が伸びを牽引したものの、北および西ヨーロッパ (共に+ 1%) により全地域の伸びは抑えられた。

アジア・太平洋 (+5%)の伸び率は、南アジア (+ 8%) が牽引し、これに東南アジア (+ 6%)、北東アジア (+ 5%) が続き、昨年から減速したものの世界平均を上回った。一方でオセアニアは 2%増となった。

アフリカ (+ 5%) はこれまでの活用可能なデータによると、2 年間連続の 2 桁成長の後、北アフリカ (+ 10%) で堅調な結果が持続していることが確認できたが、サハラ以南地域では 1%増となった。

米州の 2%増は同地域の様々な状況を反映している。カリブ海 (+ 8%) の多くのDestinyネーションにおいては、2017 年のハリケーン後の回復を確かなものにしたが、一部、アルゼンチンからのアウトバウンド数の減少が近隣のDestinyネーションに影響を与え、南アメリカの到着数は 3%減となった。北アメリカと中央アメリカは共に 2%増となった。

ソースマーケットー観光支出上位国において複雑な結果

米国 (+ 6%) はドル高に支えられ、絶対値において国際観光支出の成長を牽引した。インド及び一部のヨーロッパ市場が堅調に推移したが、世界全体の成長は 1 年前よりも不均一となった。

フランス (+ 10%) は、アウトバウンド市場の上位 10 位中で最大の増加率を示した。これは 2 年連続の国際旅行に対する需要の高まりを反映している。スペイン (+ 10%)、イタリア (+ 9%)、オランダ (+ 7%) も力強い成長を記録し、続いて英国 (+ 3%) とロシア (+ 2%) が続いた。

ブラジル、サウジアラビア、アルゼンチン等の一部の主要な新興国・地域においては、近年続いている継続的な経済の不確実性を反映し、観光支出において減少を示した。

ソースマーケットで世界第一の中国は、2019 年上半期にアウトバウンド旅行が 14%増となったが支出は前年同期比で 4%減となった。

○UNWTO World Tourism Barometer (UNWTO 世界観光指標「バロメーター」)とは

UNWTO 世界観光指標（「バロメーター」）は最新の世界の観光動向を示す統計指標で、UNWTO 本部から、年 6 回を目処に公表されます。国連世界観光機関（UNWTO）駐日事務所では、本部の公表にあわせてタイムリーに情報提供しています。

○国連世界観光機関（UNWTO）について

UNWTO は、1975年1月に観光に関する国際機関として設立され、2003年に国連の専門機関に移行した観光に関する世界最大の国際機関です。観光の地位・競争力の向上、持続可能な観光の推進、観光を通じた貧困削減や開発の推進等を支援しています。

国連世界観光機関（UNWTO）駐日事務所は、UNWTO 唯一の地域事務所として、1995年に設立されました。同事務所ではアジア太平洋地域の交流促進を図り、観光を通じた経済発展や国際相互理解の増進を図るために、国際会議、セミナー、シンポジウムの開催や調査研究業務を行っています。

●お問い合わせ先(UNWTO 本部; メディア専用窓口)

E-mail: comm@unwto.org

Tel: (+34) 91 567 8100

※メディアの方は本部へ直接、英語でお問合せください

お問い合わせ方法につきご質問がある方は

UNWTO 駐日事務所までご連絡をください。

○一般のお問合せ先

国連世界観光機関（UNWTO）駐日事務所

（一般財団法人アジア太平洋観光交流センター）

担当：吉田、村田

電話：0742-30-3880

E-mail: info@unwto-ap.org

